

指定管理者による公の施設の管理運営状況

令和4(2022)年度

施設名	栃木県日光だいや川公園		
施設所管課	県土整備部都市整備課		
指定管理者	日光緑化グループ ・株式会社 大日光・エンジニアリング (法人番号 4060001008446) ・日光緑化協同組合 (法人番号 1060005009526) ・株式会社 カルチャーバンクスタジオ (法人番号 9060001029553)		
指定期間	令和元(2019)年 4月 1日～令和6(2024)年 3月 31日		

1 施設の概要

施設所在地	日光市瀬川 844
施設の概要	①指定管理者による管理面積 55.8ha ②主要な施設 フィールドアスレチック、パークゴルフ場、グラウンドゴルフ場、 ディスクゴルフ場、オートキャンプ場、やすらぎの池、そよかぜ広場、とんぼ池、 ふるさとの森、チョウの丘、ちびっこ広場、緑の相談所、だいや体験館 等
業務内容	①公園の維持管理に関する業務 ②有料公園施設の利用許可に関する業務 ③公園の運営に関する業務

2 収支の状況

令和4(2022)年度

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	114,956	指定管理※2	事業費	16,097
	利用料金収入	50,344		管理運営費	49,598
	その他収入※1	2,740		人件費	105,163
				その他支出※1	4,228
	合計	168,040		合計	175,085
指定管理業務収支差額①		▲7,046			
自主事業		28,743	自主事業	19,554	
自主事業収支差額②		9,189			
収支差額(①+②)		2,143			
備考(※1 その他収入の主なものを記載) ・雑収入 2,740千円			備考(※1 その他支出の主なものを記載) ・租税公課 4,228千円		

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

令和3(2021)年度(前年度)

(千円)

収入			支出		
指定管理※2	指定管理料	113,363	指定管理※2	事業費	2,089
	利用料金収入	43,958		管理運営費	47,978
	その他収入※1	8,053		人件費	107,065
				その他支出※1	10,717
	合計	165,374		合計	167,849
指定管理業務収支差額①		▲2,475			
自主事業		20,238	自主事業	14,501	
自主事業収支差額②		5,737			
収支差額(①+②)		3,262			
備考(※1 その他収入の主なものを記載)			備考(※1 その他支出の主なものを記載)		

・雑収入 8,053千円	・租税公課 10,717千円
--------------	----------------

※2 指定管理業務に係わるもののみ計上する。

### 3 利用状況

	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度
公園利用者	334,539人	350,457人

施設名(利用料金施設)	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度
フィールドアスレチック	17,339人	22,409人
パークゴルフ	5,765人	7,786人
グラウンドゴルフ	863人	1,074人
ディスクゴルフ	994人	1,419人
共通一日券	967人	835人
オートキャンプ場	21,557人	22,283人
合計	47,485人	55,806人

施設名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度
緑の相談所	相談件数	28件	30件
	催し物回数 (延べ人数)	18回 (3,265人)	22回 (2,905人)
	講習会回数 (延べ人数)	9回 (113人)	18回 (205人)
体験学習施設	講習会回数 (延べ人数)	28回 (600人)	42回 (766人)

### 4 サービス向上に向けた取組

#### (1) 施設運営

- ・年間スケジュールに合わせ、体験館エリアの山林や交流エリアの小鳥の森を重点的に樹木を間引き、利用者が気持ちよく過ごせる環境作りに取り組んだ。
- ・キャンプ場キャビン周囲に植樹を行い昨年よりも景観改善に努めた。
- ・修繕は遊具を最優先に行い安全確保に努めた。
- ・毎日、巡視を行いながら危険箇所や故障箇所等をチェックして早期発見、早期対処に努めた。
- ・園内に居る動植物の保護の為、看板設置、周囲にロープを張るなどを行い、環境保全に努めた。

#### (2) 効果的な広報活動

- ・とちぎ国体やいちご王国とちぎの日 in 東京スカイツリーなどの栃木県主催イベントに積極参加しPRを実施した。
- ・初めての試みとして、東京代々木公園で行われたアウドアデイジャパン in 東京に参加して首都圏の方にPRを行った。
- ・ホームページ、Instagram、Facebook、広報にっこうを中心にイベントなどの公園情報を積極的に発信して利用促進に努めた。
- ・園内利用者に向けては、大駐車場に設置した掲示板を活用し、講習会や体験会などのイベントを掲示して利用者へ積極的な情報提供を行った。

#### (3) 魅力ある事業

- ・パークゴルフ大会を早々に再開させ愛好者の成果発表の場及び親睦の場を提供とともに、公園施設の利用促進と参加者の健康増進に努めた。また、自治会やクラブの親睦会などの予約を積極的に受け入れて楽しんでもらっている。

- ・自然環境保護の意識向上及び自然に生きる生物との触れ合いをテーマにして「ホテルの観賞会」を実施した。
  - ・アスレチックやキャンプ場の利便性維持のため、売店と自販機を継続して行っている。また、緑の相談所での植物販売や体験館などでのオリジナルグッズなど販売も継続して行い大変喜ばれている。
  - ・だいや亭では日光にゆかり深い徳川家康公の好物であった「とろろ」を使った新メニューを提供し喜んでもらった。
  - ・チョウの丘の花畑を中心に菜の花、向日葵、コキア、葉牡丹などを植え、利用者にコロナ下でも四季を身近に感じてもらえる様に取り組んだ。
- (4) イベント事業
- ・実施したイベントでは感染症への対策として、マスク着用、消毒の徹底、密の回避などを行いクラスターが発生しないように取り組んだ。
  - ・昨年実施できなかった、七夕飾りをしようや森の映画上映会を再開させ利用者に喜んでもらえる様に努めた。
  - ・桜まつり、ヤマユリまつり、もみじまつりは見どころMAPを配布のみを継続して行った。
  - ・緑の相談所やだいや体験館での展示会や講習会、農業体験なども基本的感染対策の他にソーシャルディスタンスに重点を置き実施
  - ・ミニチェア作りや折り紙教室など小学生向けのイベントを多く実施した。
  - ・だいやの週末は、昨年同様小規模イベントとして実施した。
- (5) 多様な主体との連携・協働促進
- ・伊藤園、いっしょにロコモーション協議会と連携して、SL大樹開始5周年記念イベント(チョウの丘で、SL大樹が通り過ぎる際にみんなんで手を振るイベント)を実施した。
  - ・日光商工会議所企画のイベント(まるごとにつこう市)の会場として6月、11月にイベント広場を貸し出した。
- (6) 新しいサービスと利便性の向上
- ・キャビン全棟に野外テーブルセットを設置して利便性を向上させ、障がいのある方、お子さん連れの家族、若者層向けに気軽にキャンプができるようにした。
  - ・キャンプ場のキャビンを冬季割引対象に加えて、冬季間の利用増加に努めた。
  - ・大駐車場と西駐車場に自転車スタンドを設置して、日光をサイクリングされる方が気軽に立ち寄りやすいように整備した。

## 5 利用者意見への対応

利用者意見の把握方法				
・管理事務所に意見箱を常時設置し、ご意見票を回収				
回収件数 91件				
主なご意見票の項目	良い	良い方	あまり良くない	悪い
公園内はきれいでしたか	83.7%	14.0%	0.0%	2.3%
公園の管理状況はいかがでしたか	72.6%	23.8%	3.6%	0.0%
花壇や樹木などの植物の管理状態はいかがでしたか	73.2%	24.4%	2.4%	0.0%
スタッフの対応はいかがでしたか	85.1%	13.5%	1.4%	0.0%
・ホームページで意見を受付				

<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベントや緑の相談所の講座の参加者へアンケート調査を実施</li> <li>・日光だいや川公園連絡協議会を開催し、意見・要望を聞き取り</li> </ul>	
主な利用者意見（苦情・要望）	対 応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・両替機などがあれば良いと思います。</li> <li>・キャンピングカーサイトが道路に近すぎてうるさい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・だいや亭や直売所にお声がけ頂ければ両替いたします。</li> <li>・管理棟のスタッフにお声がけ頂ければ、場所の移動など対応いたします。</li> </ul>
主な利用者意見（積極的評価）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・東照宮の模型を見ることが出来てとても良かった。説明を聞いて勉強になった。</li> <li>・日光だいや川公園ほど清潔で安全な公園は他にありません。</li> </ul>	

## 6 指定管理者による自己評価

成果のあった取組・積極的に取り組んだ事項・利用者満足度向上への取組
<p><b>【維持管理業務】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ場キャビン周囲に植樹を行い昨年よりも景観改善に努めた。</li> <li>・冬期間に やすらぎの池・とんぼ池の菖蒲などの外来植物を駆除し、古代ハスなどの希少植物の保護に努めた。</li> <li>・植物に詳しい利用者と情報交換を行い公園内にあるサワギキョウや蟹草などの貴重な植物を保護した。</li> <li>・緑の相談所近くの砂場の外枠が腐食激しく節のみ残っていて危険な為交換を行った。</li> <li>・とんぼ池の野外階段が朽ちて坂になっている為新しく作り直した。</li> <li>・利用者から蜂に関する情報提供があった際、迅速に駆除を行った。</li> <li>・毎日巡回を行いながら故障箇所や危険箇所を早期発見、早期改善を行い事故などが起きづらい環境づくりに努めた。</li> </ul> <p><b>【サービス等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国、栃木県の指示に従い感染症予防対策を徹底して行った。</li> <li>・キャンプ場の冬季割引にキャンビンも加え冬期間でも気軽にキャンプを楽しんでもらえる様にした。</li> <li>・ニュースポ一施設では定期パークゴルフ大会を早々再開させ、市内外の利用者同士が交流できる場所を提供した。</li> <li>・体験館では、県・市外から訪れる方も参加しやすい講座として「木のミニチュアをつくろう」「おいしいうどんをつくろう」などを開催した。</li> <li>・農園体験では、日光市内の幼稚園、保育園などに向けてサツマイモ、ジャガイモなどの収穫体験を実施した。</li> <li>・大駐車場、西駐車場に自転車スタンドを設置して、日光をサイクリングされる方が気軽に立ち寄りやすいように整備しました。</li> <li>・ご意見箱をキャンプ場、無料休憩所、緑の相談所、だいや体験に設置して利用者ニーズの把握に務めご意見を頂いた箇所に関しては、直ぐに現場担当と相談し改善する様に努めた。</li> <li>・障がい福祉施設より、一般向けの講座とは別に障がい者児童向けに講座を行ってほしいとの要望があり分けて実施した。</li> <li>・だいや亭の利用者から定食をやってほしいとの意見が多く寄せられた為、平日限定で実施した。</li> </ul> <p><b>【人材教育】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士でのクラスターが起きない様にする為、外部の講習会(ビジネスマナー、安全管理など)に個々人で参加してもらいスキルの底上げを行った。</li> </ul>

<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス順守については、従業員に問題があった際は本人と面談し再発防止を行った。</li> </ul> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やすらぎの池の花壇を緑の会や愛パークの団体と共に綺麗な花壇を作った。</li> <li>・本公園でも人気のあったイベントの「森の映画上映会」を再開させ公園利用の増加を促しました。</li> <li>・地元のパークゴルフ利用者から、大会開催への強い要望があり早々に再開させた。</li> <li>・外部団体イベントでは「SL 大樹開局 5 周年イベント」の一環で、伊藤園、いっしょにロコモーション協議会、日光キッズゲルニカ制作委員会と連携し、SL が公園を通過する際、手を振りなどしてお出迎えを実施した。</li> <li>・日光市青年会議所主催の「まるごとにつこう市」などに会場を貸し出し、各コミュニティとの連携強化に努めた。</li> <li>・省エネの取り組みとして、キャンプ場のトイレ、管理事務所などの蛍光灯を LED 化する。</li> </ul>
<p>広報活動強化への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間を通してホームページ、Instagram、Facebook、広報につこうを中心に行った。</li> <li>・包括的連携協定企業における県政情報パンフレットなどの配置事業に参加して県内外の方に向けて PR を実施した。</li> <li>・栃木県主催イベントのとちぎ国体、観光商談会、いちご王国とちぎの日などに参加し県民のみならず全国へ公園の PR や観光情報の提供を行った。</li> <li>・新しい試みとして民間イベントのアウトドアデイズジャパン in 東京に出展し本公園のキャンプ場を首都圏の方に知ってもらえる様に努めた。</li> <li>・積極的にテレビ番組のロケ地として貸し出しを行いテレビからのアプローチを実施しました。</li> </ul>
<p>今後改善・工夫したい事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者との会話内で、インフォメーション女子トイレの手洗い場は水しか出ないとの話があり調査した所、温水器が設置されていなかった為、R5 年度は設置して更なる利便性の向上に努める。</li> <li>・R5 年度は今年度実施できなかったイベントを復活させ、公園利用を促進させます。</li> <li>・遊具や施設設備の老朽化が目立ってきているので優先順位を決め修繕対応していきます。</li> </ul>

## 7 所管課による評価

項目	評価の内容	確認内容・所見等	評価
1. 住民の平等利用の確保	①住民の平等利用が確保されたか	適切に実施されている。	B
	②使用許可に関する権限が適正に行使されたか	所定の手続きに則り、適切な許可が行われている。	B
	③高齢者、障害者等に対する配慮はなされたか。	高齢者や身障者に対し配慮するなど事業計画書どおりされている。	B
2. 施設の効用の最大限発揮	①施設の設置目的に沿った業務実施がなされたか	事業計画に基づき、施設の設置目的に沿った業務が実施されている。	B
	②施設の利用促進、県民サービスの向上が図られたか	キャンプ場の冬期割引にキャビンも加え、冬期間でも気軽にキャンプを楽しんでもらえるようサービスを行い、利用者の確保に努めた。	B
	③利用者満足度を把握し、満足度の向上が図られたか	利用者の満足度は昨年並みだった。	B

	④利用者からの意見、苦情に対して適切な対応がなされたか	要望・苦情に対して、適切且つ迅速に取組み対応している。	B
	⑤施設、設備、備品の維持管理や安全管理は適切になされたか	日常・定期点検を実施し、その記録が保管されているとともに、管理打合せ簿にて修繕の提案・修繕実施報告され、その修繕履歴が適切に保管されている。また、備品の管理は適切に実施されている。	B
	⑥指定管理者の創意工夫により業務改善等がなされたか	日光市内サイクリング向けに、大駐車場と西駐車場に自転車スタンドを設置して立ち寄りやすい環境を整備した。	B
3. 管理を安定的に行う物的人的基礎	①組織体制は適正か	当該業務を概ね適切に遂行できる組織となっている。	B
	②収支は適正でバランスがとれたものか	概ね適正である。	B
	③経費の縮減に取り組んできているか	事業計画書どおり多目的、多用途に従事するスタッフを配置し人件費を削減するとともに、グループ各社の専門性を活かして対応する事により外注費を削減する等コスト削減に努めている。	B
	④人材育成は適切に実施されているか	公園管理に必要な資格の取得や技術と能力を向上するため、事業計画書に基づいた研修を実施した。	B
	⑤危機管理体制（事故、緊急時の対応）は確保されているか	緊急時連絡体制により、関係部署との連絡体制は確保できている。また、事故・異常気象時の対応も適切に対応・報告がなされていた。	B
	⑥県や関係機関との連携ができているか	県や関係機関と連携し、管理運営を行っている。	B
4. 個人情報保護	①個人情報の保護についての措置が計画どおり実施されているか	個人情報の保護に関する要領を定め、適切に保護を行っている。	B
	②情報公開は適切になされているか	情報公開事務処理要領を定め、適切に運用している。	B
5. その他	①施設の特性にふさわしい自己評価がなされているか	適切な自己評価が行われた。	B
	②自主事業が計画どおりに実施されているか	コロナ渦及び台風の影響により中止になったものもあるが、可能なものは適切に実施した。	B
	③イベント等を実施している場合は、地域との連携が図られている	日光キッズゲルニカ等との連携イベントを実施したほか日光青年会議所主催のイベント会場となるなど、各コミュニティとの連携強化に努めた。	B

④環境への配慮（騒音・公害対策、ごみ削減等）がなされているか	省エネルギーへの取組みとして、キャンプ場のトイレ、管理事務所などの蛍光灯をLEDに取り替えた。	B
⑤その他管理運営上の特記事項（コロナ対策がなされているか等）	新型コロナウイルス感染症対策に徹底的に取り組み、クラスターの防止のため、外部講習会に参加するなどスキルアップを行った。	B

総合的な評価

全般的におおむね良好な管理運営状況である。  
 栃木県主催の首都圏イベントや東京でのアウトドアイベントへの参加や、ホームページやSNSで発信を行う等、積極的な広報に取り組むことで、公園利用の促進に努めている。  
 また、日光市内のサイクリング時に立ち寄りやすい場所を設置することや、市内の幼稚園生等に体験学習の機会を提供する等、地域との連携・協働にも取り組んでいる。  
 引き続き、県内外問わず、誰でも気軽に楽しめる公園づくりに努めていただきたい。

※「評価」欄には、以下の指標により判定した結果を記載すること。

- A：事業計画に対して優れた取組となっている。
- B：事業計画どおりの取組となっている。
- C：事業計画に対して劣る取組となっている。
- D：事業計画に対して著しく劣る取組となっている。